

2021年9月1日

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）

2021年度Space Designer検定試験のテーマを発表

「吹抜けを活かし、ブルックリンスタイルでまとめるテレワークスペースのある住まい」

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（以下ACSP）（東京都港区赤坂、代表理事 木下仁）は、2021年度Space Designer（スペースデザイナー）検定試験のテーマを、「吹抜けを活かし、ブルックリンスタイルでまとめるテレワークスペースのある住まい」に決定したことを発表しました。

本試験は、国内唯一の「ソフトウェアによる室内空間の3Dパース画とデザイン提案書作成スキルの育成」を目的とした、課題提出方式の試験です。毎年異なる課題テーマと設計図面を出題し、ソフトウェアを使った正確な3Dパース画作成と、テーマに合った、文章や背景、イラストを取り入れた提案書作成の能力を評価します。さらに、1級合格者の中から優秀な作品を、金・銀・銅賞として表彰しています

今回のテーマは、With/Afterコロナで注目される自宅内のテレワークスペースを、吹き抜けを活かしたブルックリンスタイルでまとめる力が求められます。

2020年度のテーマは「オーシャンビューを楽しめる沖縄のコンドミニウム」で、受賞作品を公式Webで公開しています。 <https://www.acsp.jp/sd/sakuhin.html>

【Space Designer検定試験について】 (<https://www.acsp.jp/sd/>)

試験方式：課題提出方式

評価方法：評価委員がすべてのパース画および提案書を「評価基準」に基づき総合的にチェックし判定

合格基準：Space Designer1級 基礎課題の総合評価で70点以上、応用課題の総合評価80点以上

Space Designer2級 基礎課題の総合評価で70点以上

受験対象者：建築物の内装を設計するのに必要な知識（製図、インテリア）と技能（ソフトウェアを利用したCGパース作成）・空間デザインの表現力を学習している学生、住宅建築・リフォーム関連企業の社員、同企業への転職を希望する社会人

2021年度試験申込期間：2021年11月26日（金）～2022年1月11日（火）

2021年度試験期間：2022年2月4日（金）～2月13日（日）※基礎課題は2月7日（月）までに提出

【一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）について】 (<https://www.acsp.jp/>)

ACSPは、1990年の創設以来、受験応募者累計59万人を達成する「CAD利用技術者試験」を主催・運営する非営利法人です。検定を通し、「ITを活用したものづくり人材」と「生き生きと楽しみながら働き、社会で活躍できる人材」の輩出に努めています。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP） 担当：佐藤

Email：acsp_press@acsp.jp